

長首カボチャ『ながちゃん』の 特性と栽培のポイント

雪印種苗(株)
園芸作物研究グループ
野菜研究チーム 広瀬 慶多



写真1.特徴的な形の「ながちゃん」

1. はじめに

一口にカボチャといっても様々な種類があり、それらはおおよそ「ニホンカボチャ」、「セイヨウカボチャ」、「ペポカボチャ」の3つに大別されます。「ニホンカボチャ」には伝統野菜の『鹿ヶ谷』などが分類され、やや粘り気のある食感でしっとりとした甘さがあります。「ペポカボチャ」にはズッキーニやコンテスト用のカボチャなどが分類されます。「セイヨウカボチャ」には、ほくほくした食感で甘味が強い種類が多く、現在一般に消費されているカボチャのほとんどがこれに分類され、数多くの品種が栽培されています。

今回ご紹介する新品種『ながちゃん』は、見た目はヘチマやズッキーニのように見えますが、一般的なカボチャと同様に「セイヨウカボチャ」に属します。形が特徴的だけでなく、品質、食味にも優れた『ながちゃん』について、その特性および栽培のポイントを中心にご紹介いたします。

2. ながちゃんの特性概要

①草勢および着果性

草勢が強く、側枝の発生が多い頑強な草姿となります。雌花の着生はやや遅く、花数はやや少ない傾向があります。果実の成熟はじっくりで、完熟までには開花後45日以上を要します。

②果実の特性

果皮色は濃緑色で淡緑の条が入ります。果形はやや首の細い長紡錘形で、長さは40cm前後となります。1果重は2~3kg程度の太果に揃いますが、栽培条件によっては5kg以上の太果を収穫することもできます。

果肉色は濃黄色。包丁が入りやすく、輪切りにすると果肉を均一な肉厚で切り分けることができます。肉質は粉質が強く、食味は極めて良好です。貯蔵中の腐敗果は少なく、追熟により糖化が進んで甘味が増します。

3. 栽培のポイント

『ながちゃん』は草勢が強いため、標準的な管理下では過繁茂になりやすい傾向があります。

草勢が過度に旺盛であると雌花の着生が抑制され、着果不良や果実の不揃いの原因となります。さらに、着果後も茎葉の生長が進み果実の完熟が遅れてしまいます。特に1果重が5kgを超えてしまう場合は、完熟までに開花後60日以上かかることもあります。

以下に、安定した生産をおこなうための過繁茂防止対策を中心に栽培のポイントをご紹介します。

①適作型

各地域で適した播種・定植期と予想収穫期は図1の通りです。従来の品種同様にトンネル資材等を利用した促成栽培も可能ですが、草勢が強くなりすぎると太玉傾向が見られます。2~3kg程度の果実を安定収穫するには露地栽培、特にやや遅めの作型が最適です。



写真2. やや遅まきで安定生産

図1.「ながちゃん」の適作型表

地域	作型	月									
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
北海道 東北 高冷地	トンネル		●	●	▲				■		
	露地			●	▲				■		
一般地 暖地	トンネル	●	▲	▲			■				
	露地		●	▲			■				

●：播種期 ▲：定植期 ■：収穫期

②育苗管理

直播や早苗の定植は過繁茂の原因となるので従来の品種と比較して**遅めの生育ステージでの定植**が適します。露地栽培でも12cmポットを使用して本葉4枚以上まで育苗します。

種子はやや大粒で吸水力が強いので、発芽に際して水分不足にならないように注意します。発芽にはやや高い地温を要しますが、高温条件下では雌花の着生が抑制されるので本葉が展開し始めたら**夜温を低く管理**します。トンネル栽培の場合は夜温10~15℃を目標に、露地栽培の場合はハウスを開放するなど、できるだけ夜温を低く管理します。葉がせり合うようになったら、ずらし作業をおこない苗の徒長を防ぎます。



写真3. 間隔をあけて徒長防止

③肥培管理

草勢が強いため多肥による過繁茂に注意します。元肥を抑えて、追肥で補っていく肥培管理が適します。

元肥は従来品種の50%を目安として、圃場全面に施用します。着果確認後に必要に応じて追肥をおこないます。追肥はNK肥料をつる先に施用します。茎葉が繁茂して圃場に入るのが困難な場合は液肥の葉面散布で対応します。

④栽植密度と整枝

つる伸びが早く、やや節間が長いので畝幅は標準より広くします。**畝幅は3.5~4.0m**、株間は**60~70cm**として栽植密度は360~476株/10a程度とします。

整枝方法は**子づる2本仕立て**とします。親づるの芯を止めて、生育の揃った2本の子づるを伸ばします。

側枝が多く発生するので、つる傷防止や草勢のコントロールのために**着果節位までの側枝は除去**します。



写真4. 茎葉の伸張が早い『ながちゃん』

⑤その他の管理

黄帯防止、疫病などの腐敗果防止のため、果実マットを敷いて果実が直接地面に触れないようにします。着果後すぐに触れると果皮が傷つきやすいので、14~20日程度してからマットを敷きます。

生育後半はうどんこ病が発生しやすくなるので定期的に薬剤防除をおこないます。また、アブラムシにも注意し予防的に防除します。



写真5. 整枝とマットで良品生産

⑥収穫

収穫の目安は開花後45日程度ですが、**着果状況や草勢次第では完熟が遅れます**。収穫期が近くなったら成果梗部を確認し、果梗全体にコルク化が進んだ完熟果のみを収穫します。

収穫は晴天の日におこない、切り口が乾くまで半日程度乾燥させてから収納します。



写真6. 果梗のコルク化で適期を判断

⑦キュアリングおよび貯蔵

収穫後は遮光した風通しのよい場所に保管し、やや高温でキュアリングをおこないます。キュアリングをおこなうと果梗の切り口や果皮のすり傷は乾燥し、貯蔵性が向上します。

本品種は粉質が強いため、収穫直後はデンプン価が高く（ホクホク感が強すぎる）、甘味が少なく感じることがあります。キュアリングをおこない、果実を追熟させることによって糖化を進めると甘味が増します。

さいごに

以上、新品种『ながちゃん』の特性と栽培のポイントについてご紹介させていただきました。一度見たら忘れられない特徴的な形とその優れた食味により、直売所の顔として活躍し始めています。均一な肉厚を利用した加工用途も検討中で様々な可能性を秘めた品種です。

弊社では他にもカボチャ品種のラインナップを揃えており、『ながちゃん』ともども雪印のカボチャをよろしくお願いたします。